



# 第18回CRCと臨床試験のあり方を考える会議2018 in 富山

## 優秀演題一覧

	ポスター 番号	演題名	演題発表者氏名	受賞理由
最 優 秀 演 題 賞	P-150	臨床研究コーディネーターの熟達度評価尺度の開発と測定結果	自治医科大学 看護学部 / 臨床研究支援センター 小原 泉	CRCの熟達度の評価に対して、新しいツールを一から作成し、計画から結果、そのデータの信頼性の確認を行った上、熟達度の測定を可能としたことは、新規性・有用性が高いと考えます。このツールが今後のCRCのSHINKAに役立つことを期待します。
優 秀 演 題 賞	P-029	北海道大学病院におけるDelegation Log・Training Logの作成・保管・管理の取り組み	北海道大学病院 臨床研究開発センター 小北 麻衣子	治験実施医療機関のあるべき姿としてDelegation Log・Training Logの作成をした事例です。慣例からの脱却は必要とは思っても、簡単ではなかったはずで、適正な業務分担は重要であり、このような活動が当たり前に行われることを期待します。
	P-041	研究実施に伴い発生する残余検体の保管と二次利用に向けた実施体制の検討 －倫理審査委員会の承認まで－	静岡県立総合病院 臨床試験管理室 望月 亜希子	対応に苦慮する施設がまだ多い残余検体の取り扱いについて、関係部署や外部有識者への相談を踏まえ、院内で利用できる研究計画書・説明文書のひな型としてまとめられました。今後のバイオバンクを含む試料利活用の発展に資する取り組みと期待します。
	P-062	休日、夜間に発生する治験業務の病院内協同体制構築の試み	徳島大学病院 臨床試験管理センター 二見 明香理	婦人科における医師盲検注射剤の試験において、非常に複雑なプロセス及びビジットをCRCの補助なしに実施できる体制を構築し、逸脱事例もなく対応ができたことを評価します。CRCのみに頼らない臨床試験実施体制の更なる構築を期待します。
	P-136	臨床研究法適用となる研究のための「やることリスト」の作成	滋賀医科大学医学部附属病院 臨床研究開発センター 山中 真由美	内容は明確かつ簡潔に作成されており、事務局と研究を実施する医師が必要な手続きを容易に理解でき、双方の業務負担を軽減することに繋がると考えます。医療機関における、臨床研究の促進に寄与する有用な取り組みであることを評価します。

# 優秀演題選考委員

	氏名	所属
委員長	玉浦 明美	国立精神・神経医療研究センター 病院 臨床研究推進部 研究管理・調整室 トランスレーショナル・メディカルセンター 臨床研究支援部
医療機関所属	若林 薫	東京都済生会中央病院 臨床研究センター
〃	山崎 三佐子	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 治験・臨床研究部
製薬企業所属	荒木 丈夫	グラクソ・スミスクライン株式会社 開発本部 開発基盤・サイエンス部門 クリニカルオペレーション部
CRO所属	井上 和己	エイツーヘルスケア株式会社 臨床品質マネジメント部
SMO所属	加藤 みどり	サイトサポート・インスティテュート株式会社 人財育成・コンプライアンス本部 人財育成研修部
上記以外の 治験に関わる者	尾方 克久	独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院 臨床研究部
〃	野沢 浩江	イーピーエス株式会社 臨床研究推進センター 臨床研究推進部

